

地産地消だより

下野市地産地消推進協議会

◇ごあいさつ 会長 松本賢一

今、日本の食料自給率は約4割しかありません。

このまま自給率が上がらないと、将来、次世代を担う子どもたちの食べ物はどうなってしまうのでしょうか。大変不安になります。

自給率を上げるために、まず、私たちができることは地元下野市の農産物を守る、つまりたくさん食べることであると思います。

地産地消推進協議会では、新鮮で安全・安心な下野市産農産物の市内消費量を増やすだけでなく、下野市の外にも広める手段などについて、消費者・生産者・流通関係者が集い話し合いをしています。

皆様もぜひ、食卓を囲んで下野市の食と農について考えてみましょう。



◇地産地消とはなんでしょう？

地産地消は、「地域で生産されたものをその地域で消費すること」を基本とした活動です。その活動は食への理解・関心も高めるので、食育の推進にもつながります。さらに生産されたものの輸送距離も短いので、環境負荷の低減にも貢献できます。

◇例えばどんな活動ができるのでしょうか？

